

## 母子保健係

(1)加賀市健やか親子21(第2次)について

平成30年度実績報告及び  
令和元年度の取組

# 加賀市健やか親子21(第2次)(母子保健計画)の概要 目指す姿「すべてのこどもが健やかに育つ加賀市に」

## 課題1. 切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策

目標1: 安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

## 課題2. 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

目標2: 次世代の健康を育む保健対策の充実

## 課題3. 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

目標3: 地域の関係機関との連携を深め、親が孤立しない地域づくりの推進

## 課題4. 育てにくさを感じる親に寄り添う支援

目標4: 親が感じる育てにくさの問題点の所在を見極め、親に寄り添う支援

## 課題5. 妊娠期からの児童虐待防止対策

目標5: 妊娠届出や各種母子保健事業を通して、虐待の早期発見と防止

# 課題1. 切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策

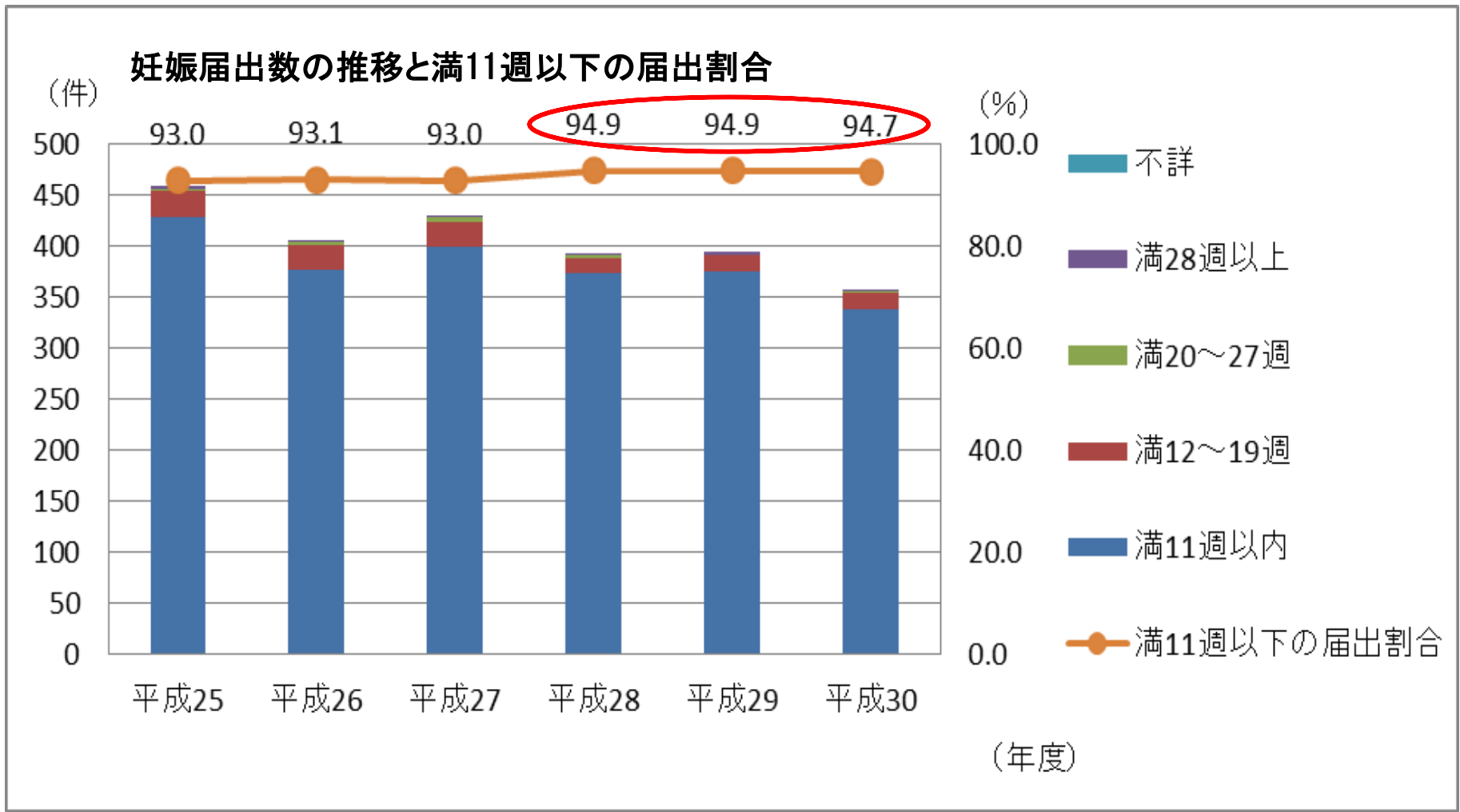
## 目標1: 安心・安全な妊娠・出産・育児のための 切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

### 平成30年度主な事業

- ・母子健康手帳交付
- ・出産準備手当給付事業
- ・妊娠期パパママ教室
- ・妊産婦乳児健康診査
- ・歯科保健対策事業
- ・乳児家庭全戸訪問事業、訪問指導
- ・養育支援訪問事業、産後家庭支援ヘルパー派遣事業
- ・産後ケア助成事業
- ・乳幼児健康診査
- ・7か月児離乳食教室、10か月児子育て教室
- ・予防接種

# 目標1:安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

## ○母子健康手帳交付 ・面接相談にて妊婦の健康管理や不安軽減を図る



平成30年度の目標値である94.5%は達成できている。12週以降の届出の遅れた妊婦や支援が必要な場合は、産科医療機関等から連絡もありタイムリーに支援できている。

### ○出産準備手当給付

・妊娠16週から産後14日までの妊産婦を対象に給付。申請時に面接相談も実施。申請が遅れている妊産婦には経過を伺い申請を勧奨している。経済的な支援だけでなく、事業をとおして妊産婦全数の状況把握でき、必要な情報提供や支援の機会とする。

	平成28年度	平成29年度	平30年度
対象者(件)	400	371	400
申請者(件)	387	364	396
給付割合(%)	96.8	98.1	99.0

※給付割合は  $\frac{\text{年度内申請者}}{\text{年度内出産した人(前年度申請者除く) + 年度内申請した人}}$

### ○15回目以降 妊婦健康診査費助成事業

・予定日(40週)を超えて15回目以降の妊婦健康診査費用の自己負担分を償還払いにて助成。赤ちゃん訪問時等に周知勧奨する。

15回目助成件数

平成28年	平成29年	平成30年
37	44	47

(15回目の助成は平成28年度より開始)

平成30年度妊婦健康診査助成件数

回数	件数
15回目	47
16回目	14
17回目	2
18回目	1
合計	64

参考: 平成30年度40週以降出産件数 133件  
41週以降出産件数 34件

## ○妊婦歯科健診(歯科保健対策事業)

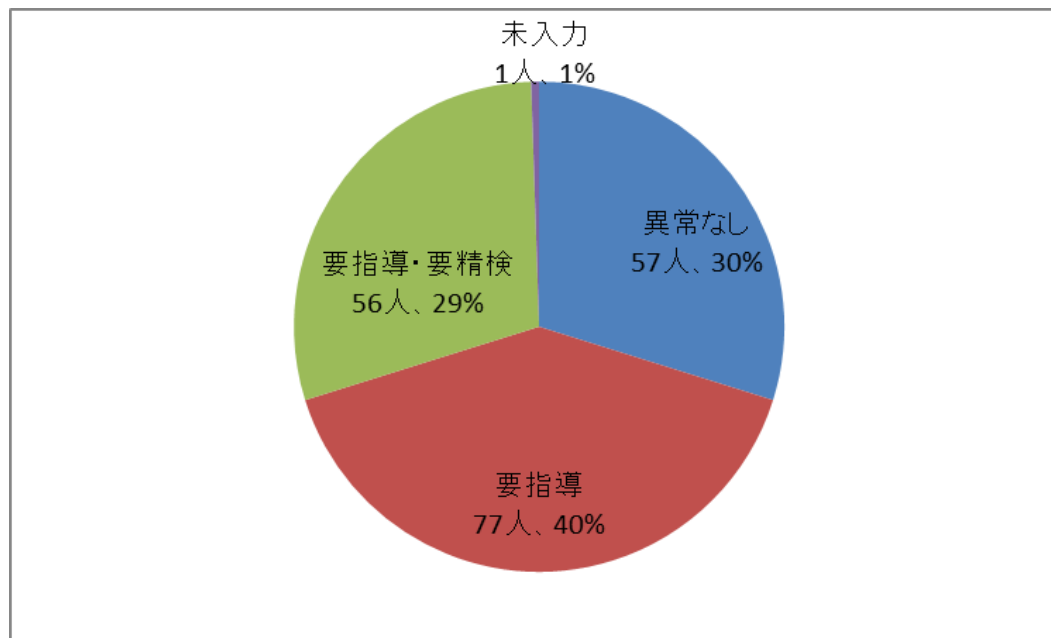
・市内指定医療機関(25か所)にて1回実施。妊娠期から歯周病や虫歯予防の意識を高め、生まれてくる子への虫歯予防にもつなげる。

### 妊婦歯科健診実績

	平成29年度	平成30年度
対象者	420	594
受診者数	21	191
受診率	5.0%	32.2%
健診方法	集団(3回)	個別(通年)

参考:平成29年度石川県平均37.7%

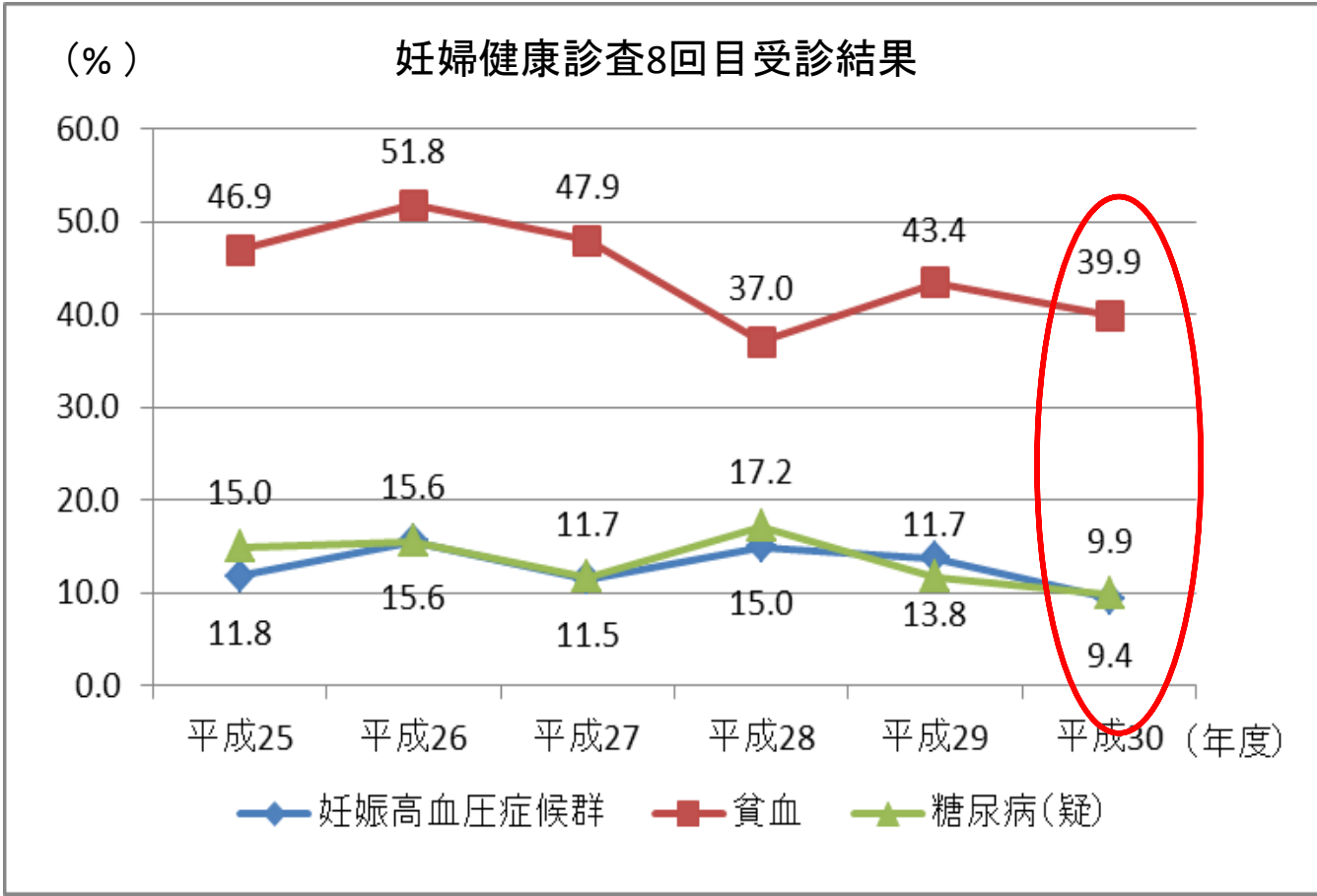
### 平成30年度妊婦歯科健診結果判定区分内訳



# 目標1:安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

## ○妊婦健康診査

・14回分の無料受診券を交付。低出生体重児の出産や早産予防対策として、受診結果から経過確認が必要な妊婦に面接や電話等で管理状況を確認し改善につながる助言している。



(参考)平成29年度妊婦一般健康診査受診状況 第8回目

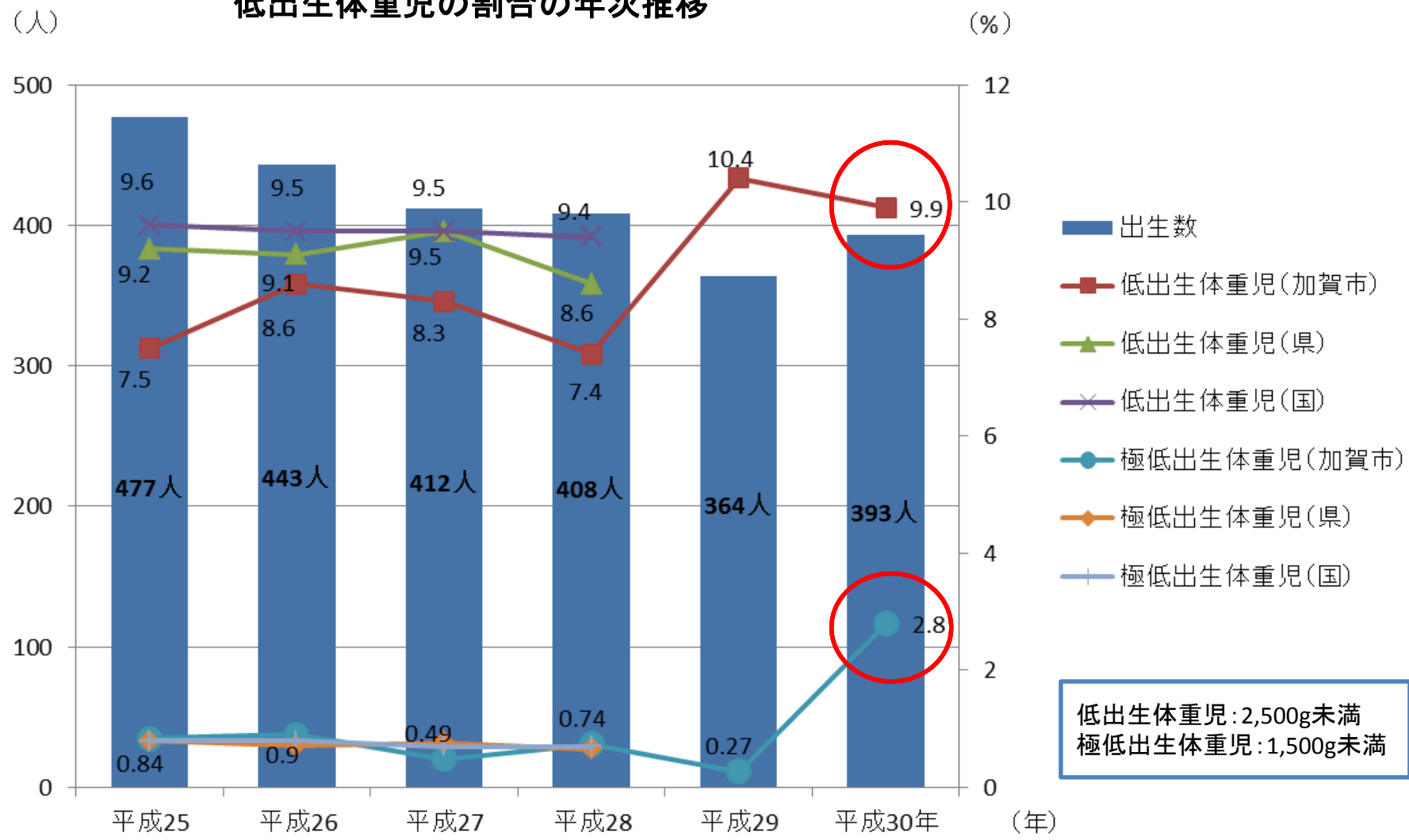
	妊娠高血圧症候群	貧血	糖尿病(疑)
加賀市	13.8%	43.4%	13.8%
南加賀	12.2%	42.5%	14.6%
石川県	7.2%	20.6%	9.7%

**地域格差がある**

妊婦健康診査8回目(妊娠30~31週ごろ)の受診結果では、妊娠高血圧症候群、貧血、糖尿病(疑)の所見はやや減少している。

# 目標1:安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

## 低出生体重児の割合の年次推移



低出生体重児: 2,500g未満  
 極低出生体重児: 1,500g未満

・平成30年の2,500g未満の低出生体重児の出生は9.9% (39人)。(目標値6.0%)  
 ・平成30年の1,500g未満の極低出生体重児の出生は2.8% (11人)と増加。(目標値0.6%)



# 目標1:安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

**○乳児家庭全戸訪問事業** 生後4か月を迎えるまでの全ての乳児のいる家庭を対象に訪問(1月～12月生)、必要な情報提供や支援を実施する。

年度	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
訪問世帯数／対象世帯件数	502/502	444/444	423/423	420/420	392/392	399/399
訪問率	100%	100%	100%	100%	100%	100%

**産後要支援者(市が妊娠期を通して把握したり産後訪問や医療機関等から把握した継続支援が必要な産婦)**

年度	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
妊娠期からの把握して支援している要支援者数(若年、精神疾患既往、育児不安等)	42人	37人	53人	48人	69人	73人

年度	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
産後訪問や1ヶ月健診で産後うつ疑いにてはじめて支援した要支援者数	64人	69人	70人	45人	27人	21人

**○養育支援訪問事業** 特定妊婦や産後の要支援者、養育支援が必要な家庭を訪問(妊婦から18歳未満)により支援する。

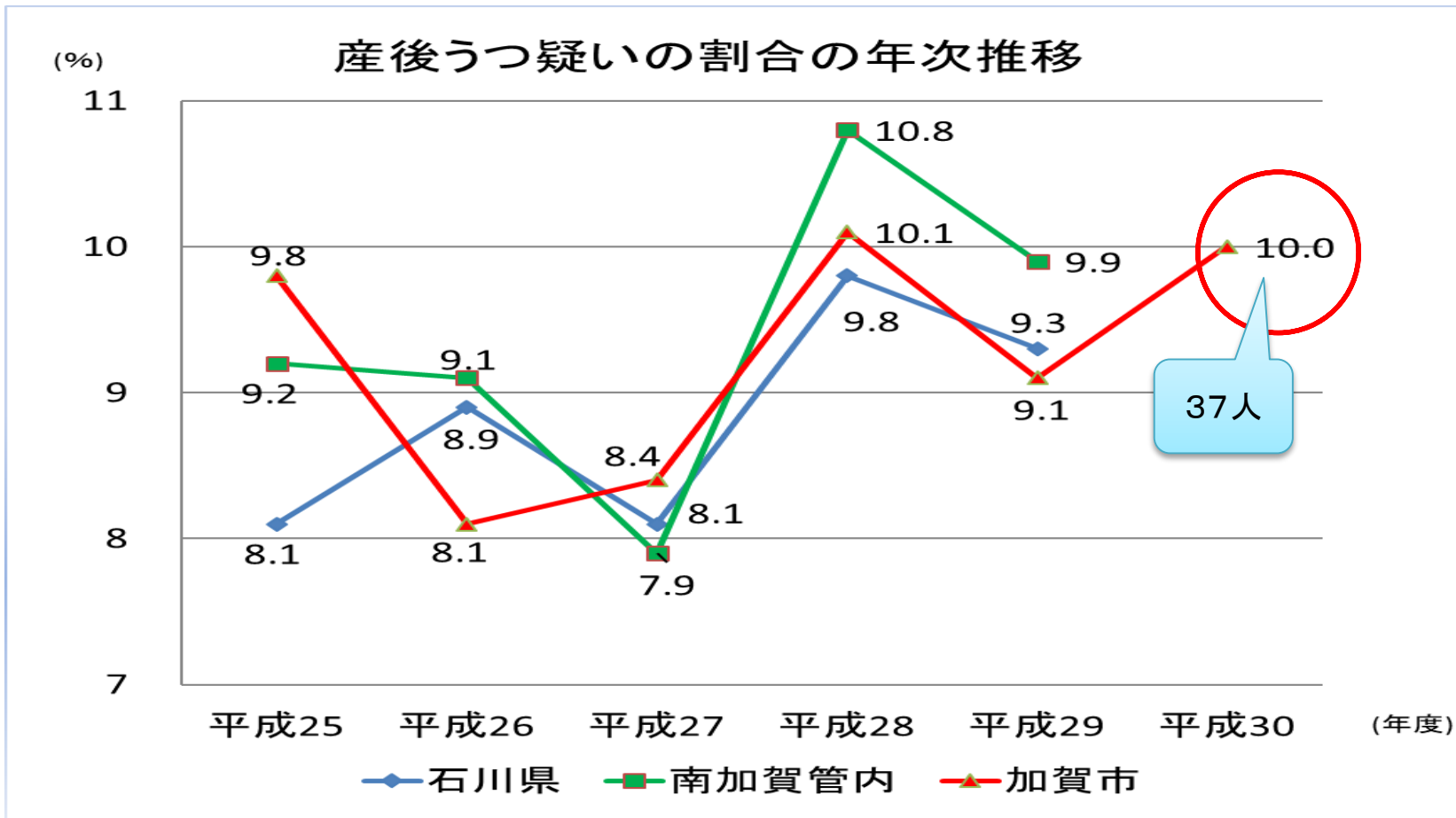
年度	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
育児・家事援助訪問世帯件数 (産後家庭支援ヘルパー派遣事業: NPO委託)	35	59	87	42	133	80
専門的相談支援訪問世帯件数 (保健師、応援ステーション家庭相談、 開業助産師:訪問委託)	226	349	350	306	563	586

(述べ世帯数)

# 目標1:安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

## ○産婦健康診査

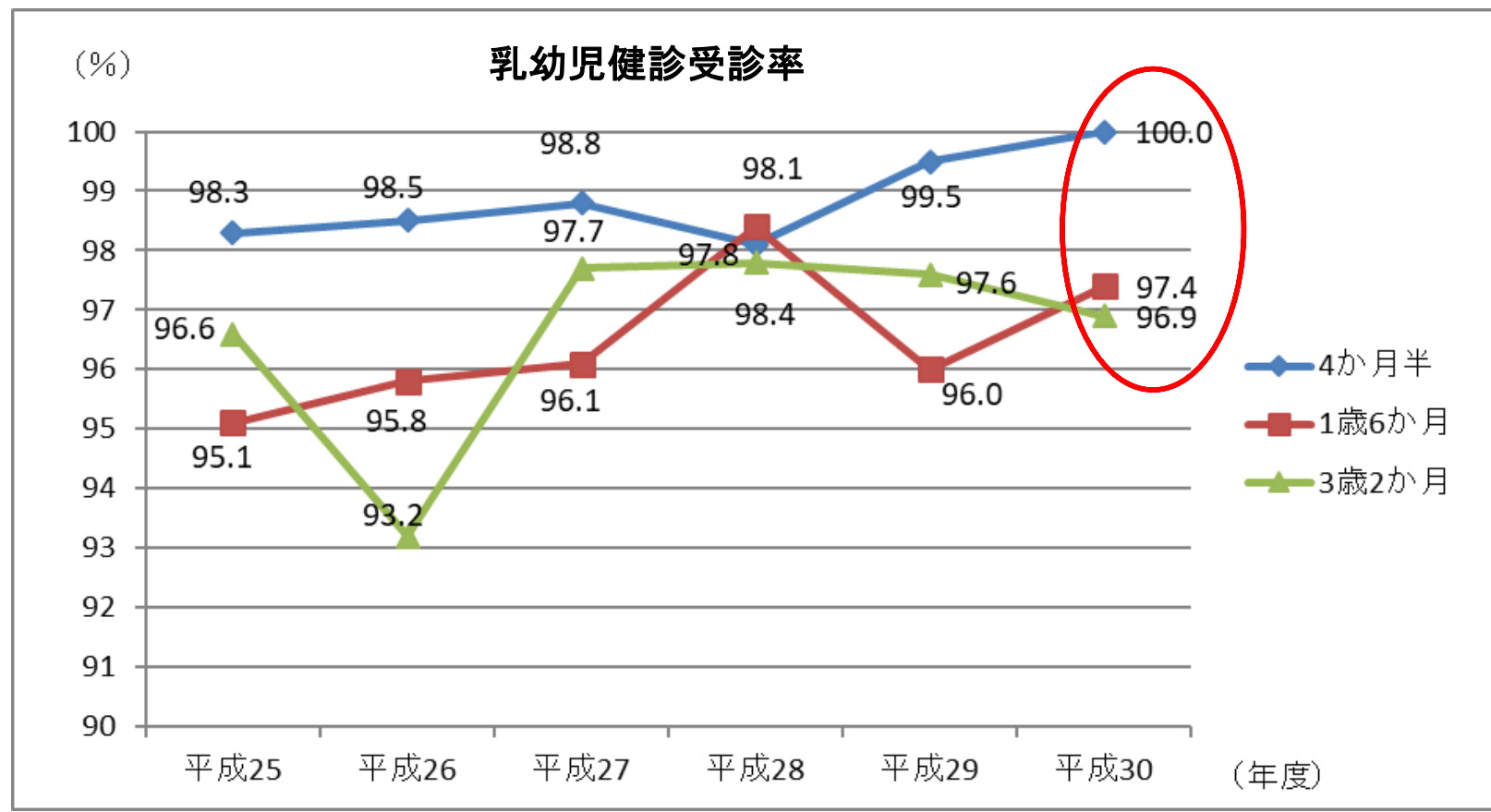
・産婦健康診査(出産後50日以内)の時に、産後うつ病質問票を実施している。9点以上の場合、産後うつ病の可能性が高いので早期に訪問を実施している。(平成30年度目標値:8%)



産後うつ疑いの割合(1か月健診)は10%であり、目標値8%より高値となった。

# 目標1:安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

**○乳幼児健康診査** 乳幼児期の発育発達の確認だけでなく、子育て相談の機会でもあり、未受診者には電話や訪問等により状況を把握し受診勧奨している。



- ・4か月半児健診—目標値98.8%
- ・1歳6か月児健診—目標値97.2%
- ・3歳2か月児健診—目標値97.0%

# 目標1:安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

**○乳幼児健康診査** 乳幼児期の発育発達を保護者と一緒に確認し、心身の障害や生活習慣の問題などの早期発見に努め、早期に適切な支援につなげる。

## 乳幼児健診経過観察割合

平成30年度	受診者数	経過観察児数(割合)
4か月半児健診	386	109(28.2%)
1歳6か月児健診	381人	93人(24.4%)
3歳2か月児健診	411	70人(17.0%)

## 乳幼児健診精密検査内訳

	要精密検査者数(延)	内訳		精密検査受診件数(延) (割合)
			件数(延)	
4か月半児健診	21人	骨関節疾患および骨格異常	11人	21人 (100.0%)
		消化器	3人	
		外表奇形	3人	
		皮膚	2人	
		腎、泌尿器、性器	1人	
		循環器	1人	
1歳6か月児健診	11人	骨・関節	2人	11人 (100.0%)
		循環器	2人	
		腎、泌尿器、性器	2人	
		消化器	1人	
		眼	1人	
		低身長	1人	
		その他(運動、言語、精神)	2人	
3歳2か月児健診	56人	眼	41人	45人 (80.4%)
		耳鼻・咽喉	9人	
		骨・関節	2人	
		循環器	2人	
		消化器	1人	
		腎、泌尿器、性器	1人	

# 目標1:安心・安全な妊娠・出産・育児のための切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実

## ○歯科保健対策

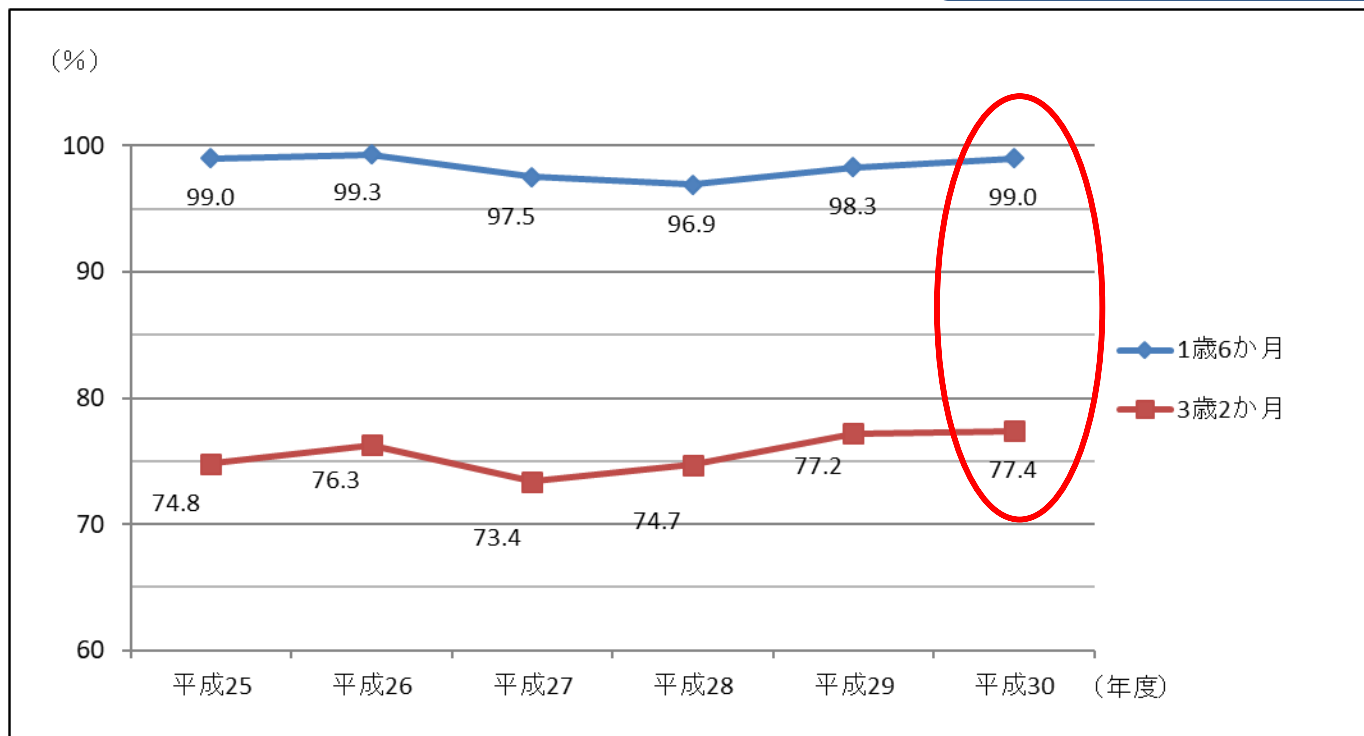
- ・保育園等にてむし歯予防教室の開催を早期からのむし歯予防として3歳前の親子を対象とする。
- ・乳幼児健診の歯科指導、7・10か月教室にてむし歯予防とブラッシングの講話

### 平成30年度実績

- ・「歯と口の健康週間行事」歯科健診とフッ素塗布(加賀市歯科医師会委託)6月3日(日) 712人
- ・むし歯予防教室 4か所 53組

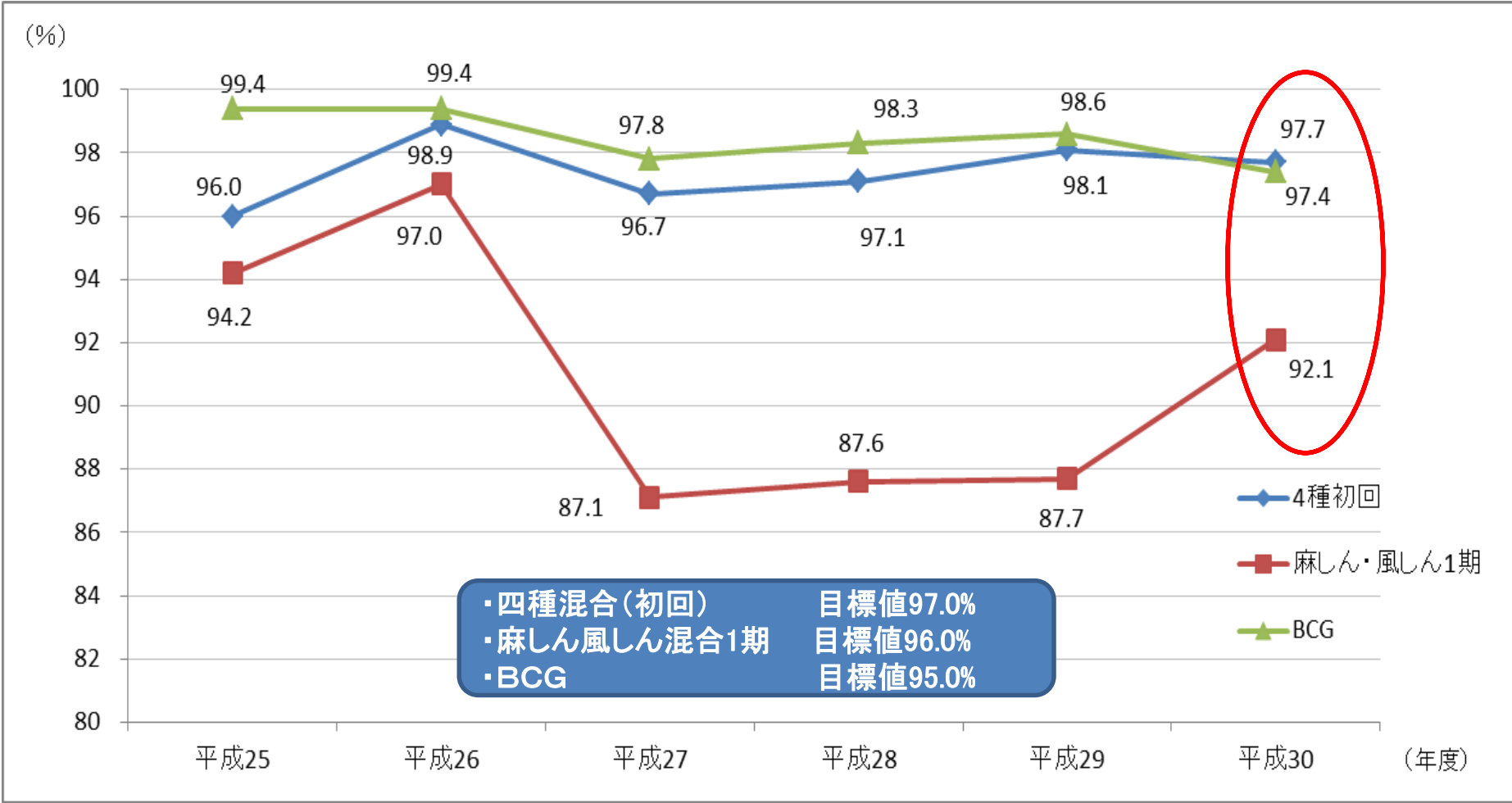
乳幼児健診(歯科健診)のむし歯ない児の割合

3歳児目標値:78.8%



○予防接種 麻しん風しん混合ワクチンは1歳の接種開始時期前に勧奨通知

1歳6か月児健診時 4種混合ワクチン、麻しん・風しん混合ワクチン、BCG接種率



## 課題2. 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策

### 目標2: 次世代の健康を育む保健対策の充実

#### 平成30年度主な事業

- ・食に関する講座
- ・子どもの命を大切にする啓発事業

# 目標2: 次世代の健康を育む保健対策の充実

## ○食に関する講座の実施

・適正な食習慣や生活習慣を獲得していけるように保育園・学校・地域にて食に関する講座を開催する。

### 平成30年度 食に関する講座の実施

保育園		全保育園
学校		全小中学校
地域	市	6回
	食生活改善推進員	56回



### 毎日朝食を食べている児童の割合(小学6年)

	市	県	全国
平成28年度	85.0%	88.9%	87.3%
平成29年度	85.4%	88.3%	87.0%
平成30年度	82.5%	86.2%	84.8%

全国学力学習状況調査

### 肥満・やせ傾向にある児童の割合(小学5年)

	肥満傾向			やせ傾向		
	市	県	全国	市	県	全国
H28年度	13.1%	7.7%	9.0%	2.1%	3.6%	2.7%
H29年度	10.3%	9.2%	8.9%	1.8%	1.8%	2.6%
H30年度	9.4%	11.3%	9.0%	3.0%	2.4%	2.8%

### 肥満・やせ傾向にある児童の割合(中学2年)

	肥満傾向			やせ傾向		
	市	県	全国	市	県	全国
H28年度	13.1%	7.7%	9.0%	2.1%	3.6%	2.7%
H29年度	10.3%	9.2%	8.9%	1.8%	1.8%	2.6%
H30年度	9.9%	7.8%	8.1%	4.6%	2.1%	2.8%

学校保健統計調査



# 目標2: 次世代の健康を育む保健対策の充実

## ○子どもの命を大切にする啓発事業

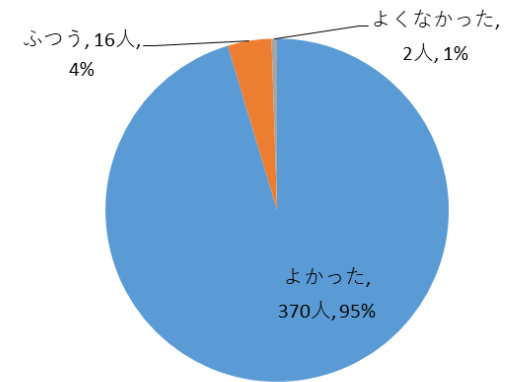
親子ふれあい体験(家庭教育支援事業:生涯学習課共催)と助産師の講話

- ・“生命の大切さ”と“親となった際の家庭の役割や子どもを育てる意義”等を学ぶ
- ・協力機関: 石川県助産師会、市育児サークル連絡協議会ぴよぴよ・かがアドバイザー、NPO法人かもママ、4か月～2歳児を持つ親子

### ①平成30年度親子ふれあい体験

対象	実施希望校	実施回数	受講人数	
中学校(講話のみ)	2年	3校	3回	204
小学校	3～6年	9校	10回	388
計	12校	13回	592	

### 親子ふれあい体験アンケート(9校388人)



私は子どもなんていらないう結婚もしたくないと思っていたけど今日の体験で赤ちゃんが欲しくなりました。赤ちゃんの泣き声はうるさいと思っていたけど、泣くということは生きている証だとわかりました。(6年女子)

もし結婚して女の子が赤ちゃんを産んでいたら、僕はそばにいて応援してあげたいです。(4年男子)

赤ちゃんがとても可愛かったです。お母さんの一番幸せなときは、赤ちゃんが笑った時でした。私も赤ちゃんの笑顔に癒やされました。(6年女子)



今日は僕が生まれることがすごいことだとわかり命ってすごいと思いました。父と母に感謝したいです。(4年男子)

お母さんの大変さがわかりました。「僕と妹を育ててくれてありがとう」と親に伝えたいと思いました。(6年男子)

# 課題3. 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

## 目標3: 地域の関係機関との連携を深め、親が孤立しない地域づくりの推進

### 平成30年度主な事業

- ・妊娠期パパママ教室
- ・子どもの命を大切にする啓発事業

# 目標3: 地域の関係機関との連携を深め、親が孤立しない地域づくりの推進

## ○乳幼児健診

親の孤立化予防の視点で子育てしている親の支援者や相談者の有無を確認している。

育児について相談する人がいる

目標値100%

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
4か月半児	99.8%	98.4%	98.5%	99.0%	98.4%	97.7%
1歳6か月児	96.9%	97.0%	99.5%	99.0%	99.0%	99.2%
3歳2か月児	98.6%	98.4%	96.8%	98.4%	98.6%	96.6%

相談相手がいない6人

相談相手がいない13人

# 目標3：地域の関係機関との連携を深め、親が孤立しない地域づくりの推進

## ○妊娠期パパママ教室（出産育児編・からだと食事編）

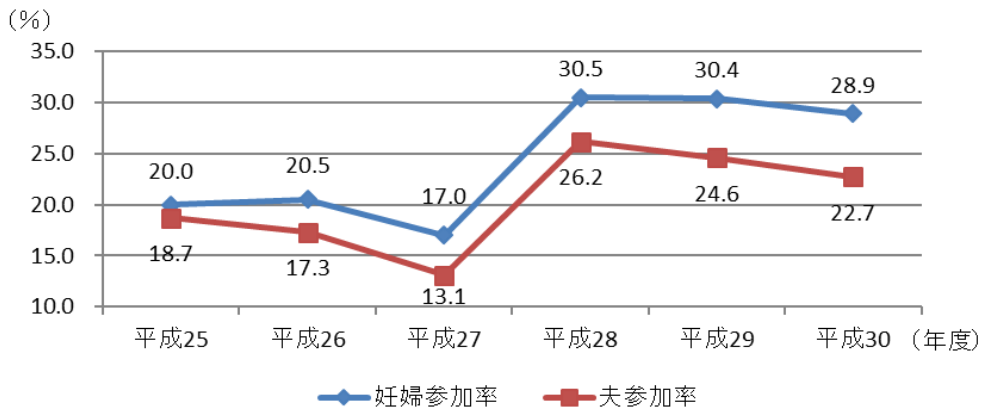
- ・「出産・育児編」を子育てに関する地域活動拠点である親子ほっとステーションにて開催。
- ・助産師と育児サポーターによる沐浴や赤ちゃんのお世話体験、赤ちゃんを迎えるための心がまえや授乳のコツの講話を実施。
- ・妊娠期から子育てに関する地域活動の拠点で「妊娠期パパママ教室」を開催することにより、地域の孤立予防及び育児不安の軽減を図る。

平成30年度 開催回数  
 平日3回（平均3.3組） 日曜5回（平均12.5組）

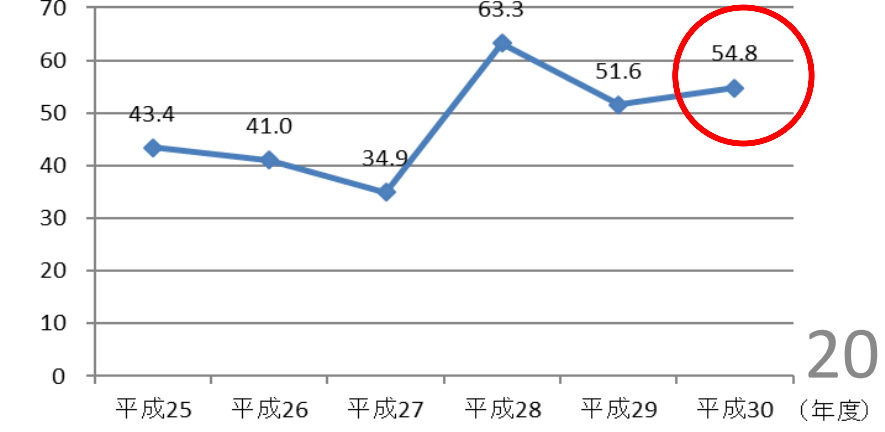
平成30年度子ども・子育て支援ニーズ調査より  
 「妊娠期パパママ教室、子育て教室」の認知度は92.8%（回答者数＝就学前児童保護者1,600）



妊娠期パパママ教室参加率



妊娠期パパママ教室初産妊婦参加率



# 目標3: 地域の関係機関との連携を深め、親が孤立しない地域づくりの推進

## ○子どもの命を大切にする啓発事業

### お腹の赤ちゃんを大切にする啓発講演会

啓発講演会 「コウノトリ先生が教えてくれたこと」 鈴木早苗氏 (TBSドラマ制作部)

平成30年7月22日(日) 市民会館 100名参加



初めて出産することへの不安や赤ちゃんへの思い、旦那さんへの思い、仕事への思い、色々なことが悩みでしたが、軽くなった部分と気づいていなかった責任や重みを感じる一日でした。

ドラマの話を通して、いろんな現実があることを聞いたことが良かったです。自分の子供達も大切に育てていきたいと再確認出来ました。

誕生という奇跡のあとには現実が待っているという大切な真実を講演会で共有できて良かったです。

## 課題4. 育てにくさを感じる親に寄り添う支援

### 目標4: 親が感じる育てにくさの問題点の所在を見極め、親に寄り添う支援

#### 平成30年度主な事業

- ・親子遊びの教室
- ・乳幼児相談
- ・ケース検討(関係機関との連携)
- ・早期療育検討会
- ・養育支援訪問事業

# 目標4：親が感じる育てにくさの問題点の所在を見極め、親に寄り添う支援

## ○乳幼児健康診査

・乳幼児期の発育発達ふまえて、親の困り感に寄り添いながら適切な指導や支援につなげる。

### 育てにくさを感じたときの対処方法を知っている親の割合

#### 4か月児健診

	育てにくさを感じる		対処方法を知っている	
平成28年度	52人	12.7%	39人	75.0%
平成29年度	34人	9.2%	26人	76.5%
平成30年度	58人	15.1%	47人	81.0%

#### 1歳6か月児健診

	育てにくさを感じる		対処方法を知っている	
平成28年度	75人	15.9%	63人	84.0%
平成29年度	65人	15.9%	50人	76.9%
平成30年度	82人	21.8%	70人	85.4%

#### 3歳2か月児健診

	育てにくさを感じる		対処方法を知っている	
平成28年度	127人	27.7%	94人	74.0%
平成29年度	107人	24.2%	90人	84.1%
平成30年度	108人	26.9%	88人	81.5%

### 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合

	4か月児健診	1歳6か月児健診	3歳2か月児健診
平成28年度	91.0%	92.2%	86.8%
平成29年度	92.3%	92.0%	89.0%
平成30年度	92.2%	94.7%	85.0%

参考「子どもの社会性の発達を知っている」の内容

- ・4か月半児健診—半年から1歳までの子は「親の後追い」をすることを知っている
- ・1歳6か月児健診—1歳6か月から2歳のこどもは「何か興味を持った時に指さして伝えようとする」ことを知っている
- ・3歳2か月児健診—3歳から4歳までの多くのこどもは「他のこどもから誘われれば遊びに加わろうとする」ことを知っている



# 目標4：親が感じる育てにくさの問題点の所在を見極め、親に寄り添う支援

## ○乳幼児相談

- ・親の困り感に寄り添い、乳幼児の発育発達の経過を親と一緒に確認し適切な指導や支援につなげる。

## ○親子遊びの教室

- ・親の困り感に寄り添いながら、親と子の遊びをとおして具体的な関わり方を学び子の理解を深める。

平成29-30年度実績

(組)

	平成29年度	平成30年度
乳児相談	43	41
7か月離乳食教室	240	223
10か月子育て教室	236	228
幼児相談	69	79
親子遊びの教室	88	64

## ○ケース検討

医療的ケアが必要な児及び発育支援が必要な児の支援を検討

平成30年度実績 ケース検討(関係機関との連携) 述べ42件

## ○早期療育検討会

医療的ケアが必要な児及び発育支援が必要な児の支援や体制を検討

平成30年度実績 6回 参加者 実35人、延べ182人 (ケース検討 3件)

※医療的ケア児・・・NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な障がい児のこと。令和元年5月1日現在 9人



## 課題5 妊娠期からの児童虐待防止対策

### 目標5 妊娠届出や各種母子保健事業を通して、 虐待の早期発見と防止

#### 平成30年度主な事業

- ・養育支援訪問事業
- ・助産師連絡会
- ・利用者支援事業
- ・スマイリーネット事業
- ・子ども支援連絡会

# 目標5 妊娠届出や各種母子保健事業を通して、 虐待の早期発見と防止

- 母子健康手帳交付
- 養育支援訪問事業

支援が必要となる妊婦を把握  
継続支援を実施

特定妊婦内訳  
 支援なし（転入・県外8） 19  
 未入籍・シングル（入籍予定含む）15  
 要保護家庭 13  
 精神疾患・メンタル既往 11  
 若年 10

## 要支援・特定妊婦の把握と継続支援

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
母子手帳交付時妊婦面接件数（転入時含む）	456人	420人	429人	383人
要支援妊婦（妊娠ライフプラン対象者）	125人	122人	151人	122人
特定妊婦	35人	56人	66人	45人
割合	7.7%	13.3%	15.4%	11.7%

※特定妊婦とは、出産後の子どもの養育について出産前から支援を行うことが特に必要と認められる妊婦  
 例：若年、望まない妊娠、精神疾患や不安の強い妊婦

## 訪問人数の内訳

実人数／延べ人数	妊婦		産婦		新生児		未熟児		乳児		幼児	
	12	23	420	449	164	168	41	63	233	255	45	52
平成28年度	21	35	392	491	138	198	42	52	238	281	109	154
平成29年度	16	21	430	583	136	159	35	52	311	374	80	119

妊婦：特定妊婦等 産婦：全数 新生児・未熟児（出生体重2500g未満）：全数  
 乳児：全数（新生児・未熟児除く） 幼児：ハイリスク（発育・発達の遅れ、養育環境等）

# 目標5 妊娠届出や各種母子保健事業を通して、 虐待の早期発見と防止

○乳幼児健康診査 未受診者の中には、相談者がおらず育児に困難さを抱えていたり、孤立して支援が必要となるケースもいると考えられるので、児童虐待防止の観点からも状況を全数把握する。

## 平成30年度 乳幼児健診未受診者理由

(単位:人)

			4か月半 児健診	1歳6か月 児健診	3歳2か月 児健診
H30年度末時点での未受診者数			0	10	13
次年度受診者数(令和元年5月時点)			0	4	4
未受診者数			0	6	9
未受診理由 (延べ人数)	児の理由	入院施設入所中	0	0	0
		医療機関管理中	0	1	3
		保育所入所	0	0	7
		その他	0	1	0
	保護者理由	健診前に転出	0	0	0
		住所地に住んでいない	0	0	0
		仕事が休めない	0	4	3
		その他	0	1	0
現時点で未把握			0	0	0

# 目標5 妊娠届出や各種母子保健事業を通して、 虐待の早期発見と防止

## 【ちょっと気になる親子の 個別のかかわり】

母子健康手帳交付時の面接

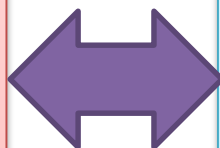
出産手当給付事業申請時の面接

乳児家庭全戸訪問事業

養育支援訪問事業

各種健診、相談、教室事業

ケース検討  
等



## 【平成30年度支援のあり方を 考える会議】

### 助産師連絡会

南加賀保健福祉センターとの  
母子保健福祉連絡会  
毎月1回共催12回 延件数1,053件

### 子ども支援連絡会

子育て応援ステーション主催の  
実務者レベルの進行管理会議  
毎月1回参加

# 平成31年度の取組(重点)

## 1. 低出生体重児における対策

目標1

・市の低出生体重児の実態について、医師・助産師を含めた関係機関と実態を共有し分析を行い、予防のための指導を充実させて個別指導を強化する。(充実・強化)

## 2. 子どもの健やかな成長を支える切れ目ない健康教育の実施

### (1) 子どもの命を大切にする啓発事業

目標1・2・3・4

・「ふれあい親子体験学習」(家庭教育支援事業と共同)で小学校4～6年生(市内6校)を対象に実施。

・健康フェスタにて「お腹の赤ちゃんを大切にする」啓発イベントブース設置とステージイベントとして～命のはじまり「35億分の1」～を実施(新規)

・母子健康手帳交付時の妊婦へのマタニティキーホルダー等による啓発(新規)

### (2) 妊娠期パパママ教室(充実)

・親子ほっとステーションでの「出産・育児編」の全9回を日曜日開催とする。

### (3) 親と子の遊びの教室(充実)

・子育て支援センター(金明保育園)における開催日を設ける。

### 3. 医療的ケア・発達支援が必要な児への支援対策

#### (1) 退院時の支援会議の全件開催(充実)

早期から医療機関と連携し、在宅支援に関わる支援チームで支援会議を実施。

#### (2) ふれあい福祉課、子育て支援課、学校指導課と連携した個別支援(充実)

#### (3) 医療的ケア児の協議の場の設置(新規)

医療的ケア児に関して、ふれあい福祉課(主管課)・子育て支援課・学校指導課・健康課の4課が事務局となって、協議の場を設け、課題整理及び体制協議を進める。

#### (4) 3部署ミーティングの設置(新規)

健康課、子育て応援ステーション、こども育成相談センターが連携し適切な支援を行うため乳幼児を中心とした発育発達や養育支援の必要な親子に関する連携した支援を検討する

### 4. ハイリスク者(育児困難・特定妊婦・健診未受診者・転出入者等)における虐待予防対策

#### (1) 関係機関との実態の共有とタイムリーな支援(充実)

・3部署ミーティング・子ども支援連絡会(要保護児童対策協議会実務者レベル会議)にて共有しタイムリーに支援を検討する。

#### (2) 子育て応援ステーションと連携した個別支援